Produced by SPECIAL PARTS TAKEGAWA

ミディアムDNスピードメーター取扱説明書
商品番号09-01-0032

このたびは、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆
◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

☆注意
この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。
・一般公道では、法的速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。
（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）

☆警告
この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。
又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。

◎クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて戴きます。ただし交換工賃等の本製品以外の一切の費用は対象となりません。
正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

○走行速度表示機能について
・LCDスピードメーターはSTDのメーター同様、メーターケーブルの回転速度をもとにスピードを表示する仕組みになっています。そのためスピードメーターケーブルの無い(電気式でホイールの回転数を測定している)車両では使用できません。
・運転者に注意を促す速度警告灯つきの車両に取り付ける場合、スピードメーター変換後はその機能が無くなりますのでご注意ください。
走行中は法定速度を守り安全走行してください。
・オドメーター機能(走行距離計)
・トリップメーター機能(リセット可能な走行距離計)
・最高表示速度は、160km/h。

商品内容

番号	部品名	数量
1	ミディアムDNスピードメーター	1
2	電源用配線	1
3	エレクトロタップ	3
4	タイラップ	2
5	メーターマウントステー	1
6	クッションラバー	2
7	メーターマウントカラー	2

番号	部品名	数量
8	ワッシャーA　5×18×1.0	4
9	ワッシャーB　6×16×1.6	1
10	6角フランジナット	2
11	メスギボシ	3
12	スリーブー：メス	3
13	FIエイプ用キーON電源サブコード	1
14	取扱説明書(本紙)	1

本紙は単品販売品と2連キット共通説明書になります。
上記構成内容は単品販売(09-01-0032)のものです。
車種別スピード＆タコメーター2連キットの場合、上記構成内容とは付属品が異なります。2連キット取り付け説明書の方で構成内容をご確認下さい。

ご注意ください
◎本製品は完全防水ではありません。
進入した湿気が出て行くように湿気抜きを本体裏面に設けております。
湿度の高い状態に置きますと本体内に湿気が浸入し画面がくもってしまう可能性があります。

バッテリー、プラグ、配線の状態（取り回しや、接続状況）によってはメーターの作動に数値表示の乱れなど、不具合が生じる可能性があります。
バッテリー状態の悪い車両やバッテリーレス車両ではメーター電源電圧が安定していない為、誤作動や故障の原因となります。またメーター電源電圧の変化が大きい車両や点火系ノイズの激しい車両では、メーター内部の電気信号が乱れ、距離表示などに間違った情報を表示してしまう可能性があります。装着時は各部の点検をしっかりと行い、装着後も必ず定期的に点検をしてください。

① 本体の取り付け

●メーター本体を付属のメーターステーを使いスピードメーターケーブルの長さに余裕のある位置に固定してください。
・ステー固定用の穴はM10サイズのネジが通るようになっています。
ハンドルクランプなど見やすい場所に走行中外れたりしないようしっかりと固定してください。
M6サイズのネジで固定する場合は付属の「ワッシャーB」を使用し固定してください。
・ラバーマウント部の組み立て、メーター本体の固定に関しては右下の図を参考にしてください。

トリップ⇔オド切り替えスイッチ
トリップリセットスイッチ
42mm
18mm
φ55mm
φ61mm
57mm

ミディアムDNメーター
ネジサイズM5×18mm
取り付けピッチ42mm

ワッシャーA
メーターステー
クッションラバー
メーターマウントカラー
ナット

ラバーマウント部組み立て図

② 電源の接続　必ずバッテリーの直流電源が必要です。

作動用にDC12V電源への接続が必要です。メーターの配線色およびギボシサイズはホンダ車向けになっております。バイクによって配線を加工する必要があります。配線はギボシを使い接続する事を推奨します。配線先の無い場合はギボシを切り落とし、付属のエレクトロタップを使用し接続して下さい。(モンキー・ゴリラの場合配線加工無しで使用可)

必ずバッテリーの安定した直流電源が必要です。弱ったバッテリー、バッテリーレス車、バッテリーレスKIT装着車では絶対に使用しないで下さい。キーONだけで(エンジン停止状態)メーターの電源が入る様にして下さい。

禁止事項・ヘッドライトOFFでの走行。

ヘッドライト常時点灯車にON/OFFスイッチを取り付け、ライトOFF状態で走行すると、消費されない電力が車両全体の電圧を上げ、バッテリーも過充電になってしまいます。結果的に過電圧＆故障の原因になります。ヘッドライトのバルブが切れて閉まった場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて(光軸も調整)ください。
この時、可能な限り低回転で走行して下さい。

メーター赤コード

常時DC12V電源

赤コードはバックアップ用電源で、キーのON/OFFやエンジンの作動に関係なく、常にDC12Vを接続されている必要があります。
キーOFF後に、走行距離の書き込みを行う為の電源です。

メーター黒コード

キーON時DC12V電源

黒コードはメーター作動用電源で、キーのON時にDC12Vがかかる配線へ接続して下さい。
エンジン始動で電圧のかかる配線への接続は間違いですのでご注意下さい。

メーター緑コード

アース配線

緑コードはメーター作動用のアース配線です。
車両のアース配線または、直接ボディーアースして下さい。

各メーカーの代表配線色(※2)

	キーON時DC12V	常時DC12V	アース色
HONDA	黒　赤/黒	赤	緑
YAMAHA	茶	赤	黒
SUZUKI	橙	赤	黒/白
KAWASAKI	茶	白	黒/黄

※2)車種によって(特に旧車)配線色の異なる場合があります。

メーター黒コード
OFF
ON
キーON電源として分岐しています。
メーター赤コード
二股分岐注意※2
アース
12V
12Vバッテリー
メーター緑コード
アース

※2 二股分岐部の配線に流せる電流量は5Aまでです。キーON後に使用する電装の合計W数が60Wを超える場合は二股分岐部を切り落とし直接車両ハーネスに赤コードを接続して下さい。

"アドバイス"
セルモーターやバッテリー電源ヘッドライトのほとんどはそれぞれに電源リレーがあります。その場合、メインキー部分にはリレー作動用の電流のみが流れます。

FIエイプ配線

メーター赤コード
メーター黒コード
メーター緑コード
FIエイプ車両側
純正メーター用配線
黒
緑
サブコード
付属のギボシで二股分岐
またはエレクトロタップで接続
赤
赤/青
赤/白
赤/黒
FIエイプ車両側
メインキー用配線

●エレクトロタップのご使用方法
エレクトロタップを使用し配線を接続する場合はラジオペンチなどで配線のギボシを切り落として下さい。

車両ワイヤーハーネス
メーターのコード

③ ケーブル形状を確認してください。

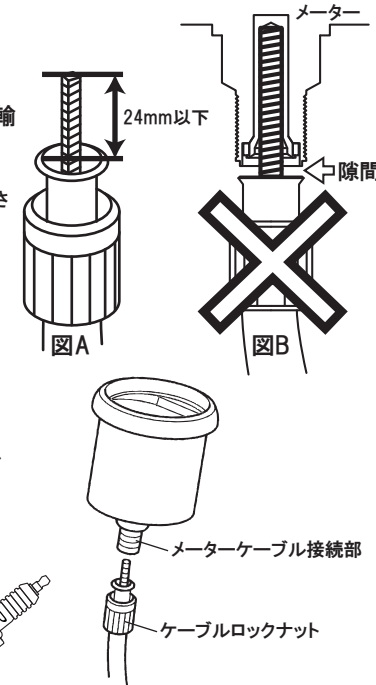
本製品はJIS規格に基いたケーブル差込部形状を採用しておりますが、輸入車及び一部国産車ではケーブル加工が必要な場合があります。

●ケーブルアウターからのケーブルの飛び出し量を測って下さい(図A)。24mmを超える場合はその部分をカットして下さい。図Bのように底づきし、上に押し上げた状態で使用されますと回転部が激しく磨耗してしまい、正確な速度を認識できなくなってしまいます。

④ スピードメーターケーブルの接続

STDメーターに接続されているスピードメーターケーブルを外し、LCDスピードメーターに接続し直してください。

● ケーブルがメーターケーブル接続部の奥まで差し込めた事を確認してから、ケーブルロックナットを締めてください。
※ 走行中にケーブルの接続が外れないようプライヤーなどを使いしっかりと取り付けてください。
取り付け後も緩みが無いか定期的に点検してください。

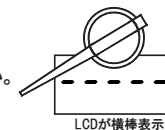
メーターケーブル接続部
ケーブルロックナット

☆抵抗入りプラグを使用してください!!

メーター安定作動の為にプラグは抵抗入りのものを使用してください。
また、ハイテンションコードコード、プラグキャップもノーマルを使用してください。
ノイズが原因でスピード表示に乱れが生じてしまう可能性があります。

トラブル

●LCD画面が横棒のままになっている。

→バッテリーの電圧がメーター作動電圧以下です。バッテリーを充電又は交換して下さい。

LCDが横棒表示

●アイドリング時LCD画面が横棒のままになっているが、回転を上げると作動し始める。

→配線が間違っている可能性があります。故障の危険が高いため、すぐに配線を確認して下さい。
A:バッテリー電源では無く、エンジン回転数で大きく電圧が変化するAC電源に接続されています。
B:バッテリーが完全に死んでいます。すぐに交換して下さい。

●走行しても次電源入れると距離計が前回の記録に戻っている。
→赤コードが常時DC12Vに接続出来ていません。

〒584-0069　大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL(0721)25-1357(代)
FAX(0721)24-5059
株式会社 SPECIAL PARTS 武川
ホームページアドレス　http://www.takegawa.co.jp

080620　09-01-0032A-2